

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	群馬社会福祉専門学校
設置者名	学校法人 昌賢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	福祉保育学科	夜・通信	68単位	6単位	
	介護福祉専攻科	夜・通信	67単位	3単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表。 ( <a href="http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html">http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html</a> ) 情報公開→シラバス
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	群馬社会福祉専門学校
設置者名	学校法人 昌賢学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

昌賢学園ホームページにて公表。 ( <a href="http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html">http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html</a> ) 情報公開→学校法人役員名簿
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	群馬県済生会老人保健施設あずま荘事務長	2020.6.21 ～ 2023.6.20	教育課程の運営に関する事 教職員等の人的事項に関する事
非常勤	株式会社恵果コンサルティング代表取締役	2020.6.21 ～ 2023.6.20	組織運営等の事項に関する事 施設設備等の物的事項に関する事
非常勤	天台宗丘林山浄土院華蔵寺住職	2020.6.21 ～ 2023.6.20	組織運営等の事項に関する事 施設設備等の物的事項に関する事
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	群馬社会福祉専門学校
設置者名	学校法人 昌賢学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・授業計画(シラバス)の作成過程          本学園では、教務カリキュラム委員会を中心に授業計画(シラバス)の作成に向けた取り組みを行っている。シラバス作成要領を作成上のガイドラインとし、すべての授業担当教員を対象にFD(執筆に関する説明会)を実施し、「授業概要」への反映を徹底している。</p> <p>就中、当専門学校は保育士資格、幼稚園教諭二種免許(現1学年より希望制)、介護福祉士資格取得を主眼とする課程であり、厚生労働省、文部科学省指定科目をそれぞれの指導、資格取得時の到達目標に沿って構成されている。</p> <p>・授業計画の作成、公表時期          3月作成、4月公表</p> <p><b>「授業概要」(シラバス)の項目</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 授業のタイトル(教科名)</li> <li>2、 授業の種類：講義、演習、実習の別</li> <li>3、 授業担当者</li> <li>4、 授業の回数</li> <li>5、 時間数(単位数)</li> <li>6、 配当学年・時期</li> <li>7、 必修・選択：必修・選択の別</li> <li>8、 実務経験の概要と授業との関連性</li> <li>9、 授業の目的・ねらい</li> <li>10、 授業全体の内容の概要</li> <li>11、 授業修了時の達成課題(到達目標)</li> <li>12、 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法</li> <li>13、 履修に当たっての留意点</li> <li>14、 使用テキスト・参考文献</li> <li>15、 単位認定の方法及び基準</li> </ol> <p style="text-align: right;">以上</p>

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表。  (<a href="http://shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html">http://shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html</a>)  情報公開→シラバス</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の学修成果は以下の試験で判定する。  前期末、後期末に実施される定期試験  卒業資格を判定する卒業試験</li> <li>・以下の成績評価の基準により単位授与を行う。</li> </ul> <p>☆受験資格は実授業時間数の3分の2並びに実習時間数の5分の4以上の出席を条件とする。  各試験は100点を満点とし60点以上を合格、59点以下の者には再試験までにさらなる努力を促し、再度の評価を行う。</p> <p>各教科ごとに試験の評価を下記段階で表しA、B、Cを合格、Dを不合格とする。  A (80点以上) B (70点～79点) C (60～69点) D (59点以下)</p> <p>教科全体の成績には受講態度、レポートへの取り組み、課題提出状況なども「学習意欲」として加味する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価の指標  教科ごとの成績評価を点数(100点満点)に換算し、取得した点数の平均を求める。</li> </ul> <p>算出は年度内において2回(前期および年度末)行い、通年の教科については年度末にのみ含める。</p> <p>A (100点) B (79点) C (69点) 合格・履修 (60点) 以上合格  以下不合格 D (0点) 欠試 (0点) 不可 (0点)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表。  (<a href="http://shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html">http://shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html</a>)  情報公開</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

「ディプロマ・ポリシー」を作成し、真摯かつ厳格に遵守している。

### 《 全学ディプロマ・ポリシー 》

本学園は「仁」を建学の精神とし「知行合一」を教育理念とする。人間としての成長目標である「質実剛健」「敬愛」「至誠」「忠恕」を身に付け、以下の諸能力を実行できる学生に学位を付与する。 (注) 学位は学士、短期大学士、専門士を含む

※ (注) は本稿説明として付す

### [ 群馬社会福祉専門学校ディプロマ・ポリシー ]

#### 福祉保育学科

所定の単位を修得し、全学ディプロマ・ポリシーと以下に示す諸能力を有するものは、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得することができる。

- (1) 知識・理解  
子どもの福祉・教育に関する知識を習得し、子どもをとりまく諸課題を多角的に考察できる。
- (2) 汎用的技能  
子どもの思いを引き出し、発達課題に対する支援方法を言語化、文章化できる。
- (3) 態度・志向性
  - ① 本学の仁の精神に則り、子どもの最善の利益を尊重できる専門職としての職業倫理を身に付けている。
  - ② 子どもの発達に影響を与える家庭や地域の課題を福祉的視点から捉え、課題解決に向けた支援を家庭や地域に還元する意欲がある。
- (4) 統合的な学習経験と創造的思考力  
習得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、子どもをとりまく諸課題を自ら発見し、その解決に向けて地域や多職種と協同しながら主体的に取り組むことができる。

#### 介護福祉専攻科

所定の単位を修得し、全学ディプロマ・ポリシーと以下に示す諸能力を有するものは、介護福祉士国家試験を経て資格取得することができる。

- (1) 知識・理解
  - ① 介護の現場が求める介護福祉士としての基礎知識を習得している。
  - ② 介護を必要とする人に関する基礎知識（心身の状況に応じた介護、新進のしくみ、関連する諸制度）を有している。
- (2) 汎用的技能
  - ① 介護を必要とする人及びその家族の個別ニーズを理解して、それを介護実践できる力を有している。
  - ② 他職種と連携を取り介護を必要とする人その家族ニーズの満足度を高める力を有している。
- (3) 態度・志向性
  - ① 利用者及びその家族の個別ニーズに沿った個別援助計画を作成し、それを実践できる。
  - ② 利用者及びその家族の満足度を高めることができる力を持つことができる。

- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
- ①介護を必要とする人及びその家族の個別ニーズを理解するための思考、判断力を有している。
  - ②介護福祉士に必要な倫理観を備え、介護現場で必要とされる思考、判断力を有している。

卒業に関する要件の適用については、学則第 24 条に定めるとおり、所定の修業年限を在学し、卒業必要単位を修得した者に対し、卒業判定会議の議を経て校長が卒業を認定している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページ及び学校案内書・学生募集要項に「アドミッション・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「ディプロマ・ポリシー」の3ポリシーを記載し、一般及び入学希望者へ公表している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	群馬社会福祉専門学校
設置者名	学校法人 昌賢学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	www.shoken-gakuen.ac.jp →群馬医療福祉大学 →大学案内→基本情報公開→財務状況
収支計算書又は損益計算書	上記にて左記項目すべてを開示中
財産目録	上記にて左記項目すべてを開示中
事業報告書	上記にて左記項目すべてを開示中
監事による監査報告（書）	上記にて左記項目すべてを開示中

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 A 福祉保育学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉分野		社会福祉専門課程	福祉保育学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	80単位	31単位	42単位	6単位	0	1単位
			80単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		57人	0人	6人	16人	22人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>保育士資格、幼稚園教諭二種免許取得を主眼とする課程であり、厚生労働省、文部科学省指定科目をそれぞれの指導、資格取得時の到達目標に沿って構成されている。</p> <p>詳細は下記「授業概要」からなる。</p> <p><b>「授業概要」の項目</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、授業のタイトル（教科名）</li> <li>2、授業の種類：講義、演習、実習の別</li> <li>3、授業担当者</li> <li>4、授業の回数</li> <li>5、時間数（単位数）</li> <li>6、配当学年・時期</li> <li>7、必修・選択：必修・選択の別</li> <li>8、実務経験の概要と授業との関連性</li> <li>9、授業の目的・ねらい</li> </ol>							

<p>10、授業全体の内容の概要  11、授業修了時の達成課題（到達目標）  12、授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法  13、履修に当たっての留意点  14、使用テキスト・参考文献  15、単位認定の方法及び基準</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）  本校の学修成果は以下の試験で測定する。  ・前期末、後期末に実施される定期試験  ・卒業資格を判定する卒業試験</p> <p>受験資格は実授業時間数の3分の2並びに実習時間数の5分の4以上の出席を条件とする。  各試験は100点を満点とし60点以上を合格、59点以下の者には再試験までにさらなる努力を促し、再度の評価を行う。  各試験の評価は下記段階で表しA、B、Cを合格、Dを不合格とする。  A（80点以上） B（70点～79点） C（60～69点） D（59点以下）</p> <p>教科全体の成績には受講態度、レポートへの取り組み、課題提出状況に加え生活態度など将来の教育者としての意欲や人間性も加味される。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）  卒業、進級の認定基準は、「全学ディプロマ・ポリシー」に基づき「群馬社会福祉専門学校ディプロマ・ポリシー」として遵守する。</p> <p>・進級の認定基準  各年次に定める必要単位を修得し、所定の学納金を完納した者に対し、進級判定会議の議を経て進級を認定する。</p> <p>・卒業の認定基準  卒業に関する要件の適用については、学則第24条に定めるとおり、所定の修業年限を在学し、卒業必要単位を修得した者に対し、卒業判定会議の議を経て校長が卒業を認定している。</p> <p>《 全学ディプロマ・ポリシー 》  本学園は「仁」を建学の精神とし「知行合一」を教育理念とする。人間としての成長目標である「質実剛健」「敬愛」「至誠」「忠恕」を身に付け、以下の諸能力を実行できる学生に学位を付与する。（注）学位は学士、短期大学士、専門士を含む</p> <p style="text-align: right;">※（注）は本稿説明として付す</p>



[ 群馬社会福祉専門学校ディプロマ・ポリシー ]

福祉保育学科

所定の単位を修得し、全学ディプロマ・ポリシーと以下に示す諸能力を有するものは、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得することができる。

- (1) 知識・理解  
子どもの福祉・教育に関する知識を習得し、子どもをとりまく諸課題を多角的に考察できる。
- (2) 汎用的技能  
子どもの思いを引き出し、発達課題に対する支援方法を言語化、文章化できる。
- (3) 態度・志向性
  - (ア) 本学の仁の精神に則り、子どもの最善の利益を尊重できる専門職としての職業倫理を身に付けている。
  - (イ) 子どもの発達に影響を与える家庭や地域の課題を福祉的視点から捉え、課題解決に向けた支援を家庭や地域に還元する意欲がある。
- (4) 統合的な学習経験と創造的思考力  
習得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、子どもをとりまく諸課題を自ら発見し、その解決に向けて地域や多職種協同しながら主体的に取り組むことができる。

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任、副担任の2名体制を敷き、学修ばかりでなく体調管理や精神的状態まで本人ならびに家庭との連絡、情報共有を徹底している。
- ・科目担当者が授業内に実施する臨時試験 ・併修大学のレポート添削
- ・教室を開放し予習、復習等に活用を促す ・欠席、欠時学生への個別指導
- ・授業ごとにアンケートをとり学生の感想や要望を反映させている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	12人 (42.9%)	14人 (50.0%)	2人 (7.1%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園 ・ 幼稚園 ・ 児童発達支援事業所 ・ 障害福祉サービス事業所</li> <li>・ 介護老人保健施設 ・ 特別養護老人ホーム 等</li> </ul>			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業生講話 ・ 職業人講話 ・ 職業興味検査 ・ 有資格者によるキャリアカウンセリング</li> <li>・ 職場体験 ・ 各種施設ボランティア参加 ・ 企業、事業所合同説明会を独自開催</li> <li>・ 先進複合施設の見学 ・ 履歴書、志望理由書、面接指導等</li> </ul>			

(主な学修成果(資格・検定等))・保育士資格全員取得 ・幼稚園教諭二種免許、初級 障がい者スポーツ指導員取得
(備考) (任意記載事項)・幼稚園教諭免許は玉川大学通信課程を履修。2020年度1学年生より履修先を小田原短期大学に変更。専門士+短期大学士のダブル取得を目指す。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1,2年生計 56人	7人	12.5%
(中途退学の主な理由) ①経済的な理由：家庭環境の変化等 ②生活、学習習慣の未成熟 ③進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学費の延納処置 ・保護者との面談 ・個別カウンセリング ・SNSでの連絡 ・保護者を交えての三者面談 等		

①学科等の情報 B 介護福祉専攻科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉分野		社会福祉専門課程	介護福祉専攻科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	79単位	45単位	28単位	6単位	0	0
			79単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		11人	0人	3人	6人	9人	
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要)							
介護福祉士資格取得を主眼とする学科であり、厚生労働省の指導、資格取得時の到達目標に沿って構成されている。							
詳細は以下「授業概要」からなる。							
<b>「授業概要」の項目</b> 1、授業のタイトル(教科名) 2、授業の種類：講義、演習、実習の別 3、授業担当者 4、授業の回数 5、時間数(単位数) 6、配当学年・時期							

- 7、必修・選択：必修・選択の別
- 8、実務経験の概要と授業との関連性
- 9、授業の目的・ねらい
- 10、授業全体の内容の概要
- 11、授業終了時の達成課題（到達目標）
- 12、授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法
- 13、履修に当たっての留意点
- 14、使用テキスト・参考文献
- 15、単位認定の方法及び基準

以上

#### 成績評価の基準・方法

（概要）

本校の学修成果は以下の試験で測定する。

- ・前期末、後期末に実施される定期試験
- ・卒業資格を判定する卒業試験

受験資格は実授業時間数の3分の2並びに実習時間数の5分の4以上の出席を条件とする。

各試験は100点を満点とし60点以上を合格、59点以下の者には再試験までにさらなる努力を促し、再度の評価を行う。

各試験の評価は下記段階で表しA、B、Cを合格、Dを不合格とする。

A（80点以上） B（70点～79点） C（60～69点） D（59点以下）

教科全体の成績には受講態度、レポートへの取り組み、課題提出状況に加え生活態度など将来の教育者としての意欲や人間性も加味される。

#### 卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業、進級の認定基準は、「全学ディプロマ・ポリシー」に基づき「群馬社会福祉専門学校ディプロマ・ポリシー」として遵守する。

##### ・卒業の認定基準

卒業に関する要件の適用については、学則第24条に定めるとおり、所定の修業年限を在学し、卒業必要単位を修得した者に対し、卒業判定会議の議を経て校長が卒業を認定している。

##### 《 全学ディプロマ・ポリシー 》

本学園は「仁」を建学の精神とし「知行合一」を教育理念とする。人間としての成長目標である「質実剛健」「敬愛」「至誠」「忠恕」を身に付け、以下の諸能力を実行できる学生に学位を付与する。（注）学位は学士、短期大学士、専門士を含む

※（注）は本稿説明として付す

[ 群馬社会福祉専門学校ディプロマ・ポリシー ]

(介護福祉専攻科)

所定の単位を修得し、全学ディプロマ・ポリシーと以下に示す諸能力を有するものは、介護福祉士国家試験を経て資格取得することができる。

- (1) 知識・理解
  - ①介護の現場が求める介護福祉士としての基礎知識を習得している。
  - ②介護を必要とする人に関する基礎知識(心身の状況に応じた介護、新進のしくみ、関連する諸制度)を有している。
- (2) 汎用的技能
  - ①介護を必要とする人及びその家族の個別ニーズを理解して、それを介護実践できる力を有している。
  - ②他職種と連携を取り介護を必要とする人その家族ニーズの満足度を高める力を有している。
- (3) 態度・志向性
  - ①利用者及びその家族の個別ニーズに沿った個別援助計画を作成し、それを実践できる。
  - ②利用者及びその家族の満足度を高めることができる力を持つことができる。
- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
  - ①介護を必要とする人及びその家族の個別ニーズを理解するための思考、判断力を有している。
  - ②介護福祉士に必要な倫理観を備え、介護現場で必要とされる思考、判断力を有している。

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任制を敷き、学修ばかりでなく体調管理や精神的状態まで本人ならびに家庭との連絡、情報共有を徹底している。
- ・科目担当者が授業内に実施する臨時試験 ・併修大学のレポート添削 ・教室を開放し予習、復習等に活用を促す ・欠席、欠時学生への個別指導 ・授業ごとにアンケートをとり学生の感想や要望を反映させている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 ( 0%)	9人 (90%)	1人 ( 10%)

(主な就職、業界等)

- ・特別養護老人ホーム ・介護老人保健施設 ・障害福祉サービス事業所
- ・児童福祉施設等

(就職指導内容)

- ・卒業生講話 ・職業人講話 ・職場体験 ・ボランティア参加指導
- ・有資格者によるキャリアカウンセリング ・企業、事業所合同説明会を独自開催

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>・介護福祉士 2019 年国家試験 100%合格、2020 年国家試験 90%合格。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>少子化、高齢化の行き着く近未来では、幼児と高齢者がともに過ごす「共生 (複合) 施設」が中心となる。保育・幼稚園教諭・介護福祉士の3資格を授与することで、ある時は保育士・幼稚園教諭として、またある時は介護福祉士としての就労が可能になる。同じ施設内で安定的かつ長期的な労働が可能となることで、日本の福祉社会が豊かになる。本校の2 + 1年の教育システムを発展させなければならない。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学費の延納処置</li> <li>・保護者との面談</li> <li>・個別カウンセリング</li> <li>・SNS での連絡</li> <li>・保護者を交えての三者面談 等</li> </ul>		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
福祉保育 学科 1 年次	100,000 円	720,000 円	100,000 円	
2 年次	— 円	720,000 円	180,000 円	
介護福祉 専攻科	100,000 円	720,000 円	180,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
<p>①学業特待：授業料 72～18 万円免除 ②資格・検定特待：30～5 万円免除 ③同窓子女・子弟入学金免除 ④2 学年に大学併修支援；玉川大学通信課程併修支援：24.09 万円/48.18 万円。⑤1 学年に小田原短期大学通信課程併修支援：44 万円/61 万円⑥自然災害等による環境の大きな悪化に対し金銭的な支援を実施。(例) 今般のコロナ対策では、a) 遠隔授業支援一律 5 万円 b) 自宅外通学者家賃補助一律 3 万円 c) 授業料減免一律 10 万円 d) マスク支給一律 25 枚など実施。</p>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表。 ( <a href="http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html">http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html</a> ) 情報公開		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針; 学園建学の精神「仁: 真心をもって人の道を行ない、世の中の役に立とうとする志」及び専修学校設置基準の目的「職業若しくは实际生活に必要な能力を育成しまたは教養の向上を図る」に則り、人として職業人として社会人として正しい教育が実践されているかを定期的に自己点検、評価するものである。</li> <li>・実施方法、体制; 5か年以内ごとに以下の評価項目について外部評価委員により調査報告、評価、改善案をいただく。委員は在学時代から就職まで、さらに社会へ出てからの本校卒業生を評価可能な就職先施設など地域社会から選定する。卒業生、保護者、施設経営者、ボランティア団体関係者、近隣住人組織などから5~7名程度の組織とする。</li> <li>・評価項目; 学習内容と成績評価方法、学習環境と指導、生活環境と指導、進路・就職指導、就職先からの評価など。</li> <li>・活用方法; 評価委員と事務長を責任者とした学校スタッフ(教務・事務職員)との協議により評価の妥当性を検討の上、必要項目ごとに期日を定め可能な要件から早急に改善に取り組む。</li> <li>・項目ごとの評価と改善に向けての取り組み状況は順次、HPまたは印刷物にて公表していくものとする。</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
群馬県老人福祉施設協議会会長 社会福祉法人 清光会理事長	令和2年4月1日~ 令和3年3月31日	専門分野における業界関係者・施設経営者
元高等学校校長 群馬医療福祉大学・看護学部長	令和2年4月1日~ 令和3年3月31日	教育における有識者
在学生保護者	令和2年4月1日~ 令和3年3月31日	P T A
在学生保護者	令和2年4月1日~ 令和3年3月31日	P T A
卒業生、社会福祉施設ケアマネージャー	令和2年4月1日~ 令和3年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・「令和2年度・第一回 学校関係者評価報告書」。学校受付にて手渡し又は送付。 ・7月1日よりホームページにて公表へ変更。 ( <a href="http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html">http://www.shoken-gakuen.ac.jp/college/about/disclosure.html</a> ) 情報公開		

第三者による学校評価（任意記載事項）

「学校関係者評価」初年度であり、まずは委員よりいただいたご意見、ご要望達成に努力したい。同時に「学校評価」に精通した職員を育成し、その後に適切な第三者委員会を組織し客観的評価の実施へと進めていきたい。

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://www.shoken-gakuen.ac.jp>

学校案内書：HP、電話などから請求、無料にて送付。